創立30周年記念特集

森林計画学会創立30周年記念大会 開催報告*

山本 一 清**

森林計画学会及び環日本海北方森林研究会の共催により、森林計画学会創立30周年記念大会が、1995年10月21日から25日にかけて新潟大学松風会館を主会場として開催された。

この大会は、

10月21日 森林計画学会創立30周年記念式典
祝賀パーティー

10月22日 国際シンポジウム

10月23～25日 エクスカーション

という日程で開催され、6ヶ国54名の参加と、21日の林知己夫名誉会員によるメモリアル・スピーチ、さらに22日の5ヶ国(China, Japan, Korea, Russia, Taiwan)の研究者による招待講演、及び16件の口頭発表が行われた。

21日の記念式典では、小林正吾会長及び小島誠新潟大学農学部長の挨拶の後、林知己夫名誉会員のメモリアル・スピーチ「森林経理と良質データ」が行われた。森林計画学会の前身である林業統計研究会発足のいきさつや、林知己夫名誉会員のご専門である統計学の実践の場としての、森林を研究対象にした様々な興味深い話題が提供されました。また、私のような若手の研究者では、データの質よりも解析手法や結果に目がいきがちだが、それ以前に良質のデータを得ることがいかに重要であるかが、様々な実例とともに解説され、筆者も大変感銘を受けた。

22日は、国際シンポジウム『A Symposium on "Forest Inventory and Monitoring in East Asia" (東アジアにおける森林の現状とモニタリング)』が開催された。午前中は、招待講演が

行われ、5ヶ国(China, Japan, Korea, Russia, Taiwan)の研究者により、それぞれの国における森林の現状及び展望についての報告が行われるとともに、活発な質疑が行われた。なお、当初予定されていたMeng教授(China)の招待講演は急遽中止となったが、北海道大学留学生のSattar氏により中国ウイグル自治区についての報告が行われた。ただし、Meng教授の発表原稿が同教授から届けられ、会場内で配布されるとともに、プロシーディングスにも掲載されることとなった。

午後は、2つの会場で、以下の4つのセッション

Room 1: Session A: Forest Inventory and Management

Session B: Forest Monitoring

Room 2: Session C: Forest Management Information System

Session D: General Topics

において、各セッション4件の報告が行われた。会場での質疑は、使用言語が英語ということもあり、やや低調であったが、パーソナルコンピュータや機械を持ち込んでのデモンストレーション等も行われ、会場は熱気にあふれていた。

また、エクスカーションは招待講演者4名を含む17名の参加を得て、23日から25日にかけて、新潟大学佐渡演習林において行われた。24日の新潟大学佐渡演習林内の小杉立のスギ天然林見学では、小雨交じりにもかかわらず林内まで分け入り、スギ天然林の成立過程についての活発な議論が繰り返された。また、夜の部では、連日遅くまでコップを片手に活発な議論や交換が交わされた。

* Kazukiyo YAMAMOTO: A report on the 30th anniversary congress of Japan Society of Forest Planning

** 新潟大学農学部 Faculty of Agriculture, Niigata University, Niigata 950-21

Jpn. J. For. Plann. 26 '96

以上のように、今回の大会は所期の目的をほぼ達成することができ、また参加者同士及び国際的な交流を深めるという点でも成功であったと考えられる。ここに、本大会の開催と運営にご協力いただいた本学会の方々に感謝の意を表します。

なお、林知己夫名誉会員のメモリアル・スピーチは森林計画学会誌に掲載されるとともに、国際シンポジウムでの発表は、招待講演を含めプロシーディングスとして出版される予定である。

(1995年12月21日受理)